



令和2年
11月5日発行
第6号



東新潟中学校ホームページも、ぜひご覧ください！

URL : <http://www.higashiniigata-jh.city-niigata.ed.jp>

早いもので令和2年度の後期課程が始まって半月ほど経ちました。冬の訪れを感じる場面が日に日に増えています。10月13日に行われた後期始業式における津野校長先生の講話です。

後期始業式講話

校長 津野庄一郎

さあ、今日から後期スタートです。3年生の卒業まであと88日余りです。一日一日をかみしめ、悔いのないようにみんなで頑張りましょう。

今月24日は東華祭・午後からは創立70周年記念式典です。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止のために、東華祭や記念式典は、今日のようなオンライン形式・YouTube配信で行います。ライブの迫力は伝わりにくいですが、生徒や職員で工夫し、一生懸命に準備していますので楽しみです。

さて、話は変わりますが、今日は70周年にかかわって、東新の歴史の中から、「力の東新」について、お話しします。2、3年生には以前お話したと思いますが、思い出してくれたら有り難いです。

生徒玄関に掲げられた「力の東新」、その原点は、校長室前に掲げられている「労力奉仕団」の旗にあると話しました。覚えていませんか。その旗こそ、今からさかのぼる72年前、この山木戸の湿地を、新しい中学校にふさわしい校地へと変えた、この地域の人たちの汗と、生徒への愛情の証です。

少し学校沿革史をもとに、振り返ってみましょう。校地埋め立て工事の起工式が行われたのは、今からさかのぼる72年前、昭和23年11月21日のことです。同月27日、土工列車運転の準備が整い、総面積8千坪（テニスコート40面余り）に及ぶ埋め立て作業が始められたとあります。そして、翌昭和24年8月10日には埋め立て工事完成の竣工式が行われました。一面に葦の生えた湿地、いわゆる「やち」と呼ばれたところが、わずか8ヶ月余りで新校舎建築にふさわしい土地に生まれ変わりました。

この工事に参加した地域ボランティアの方々が「労力奉仕団」です。参加者は延べ7604人、総工費は1082万8千円（今のお金で約1億円）、運び込まれた土は、大型ダンプでざっと15000台分と記されています。ブルドーザーもない時代、整地も含め、そのほとんどすべてが人力作業です。グラウンドの土も、校舎の床下の土も、中庭の土もすべてみんな、地域の人々の善意と、汗がしみこんでいることになります。

その後、当時は木造校舎としては類をみないほど立派な校舎が誕生し、昭和25年1月に文部省から建築モデルスクールとして指定され、全国から注目を集めることになります。そして、その11月、ついに沼垂、木戸、笹口の三小学校の卒業生、30学級、1500人が入学できる東新潟中学校が開校しました。

当時の生徒は、その喜びを、学校便り「東雲」に、次のように書いています。

「私の目の前の素晴らしい校舎、素晴らしいという言葉では物足りない。立派さを表現するもっといい言葉はないものか。赤い屋根、白い壁、青い窓、誰だってこの校舎を素晴らしいと思うだろう。中へ入った私たちは、宙を飛ぶように学校中を歩き回った。」

また、初代古川大六校長は、当時の思いを、「竣工記念誌」に、次のように綴っています。

「わけても忘れられないのは冬の最中に始まった埋め立て工事である。当時、厳しい吹雪の日さえ、一日として休むことなく続けられた地元の方々の労力奉仕、さらには設備充実のために寄せられた多額の寄付金、これはみなここに学ぶ生徒諸君の幸福を念願させればこそである。これを思うとき諸君の感慨は一層深いものがあると思う。校舎や設備がいかによくても生徒自身がそれにふさわしくなくてはな

らない。立派な校風の樹立、こうした問題については先生方の指導の下に、いろいろと励まし合い努力しているけれど、真に立派な中学生であることは、口には言いやすいが中々困難なことである。本校1500余名の生徒一人一人が自覚せねばその実現は容易ではない。どこへ出しても恥ずかしくない中学生は、やがてどこへだしても恥ずかしくない日本人となるのである。今や日本は再び世界の一等国として立ち上がろうとしている。いや立ち上がらなければならない。私たちは立派な平和な日本人としての誇りと自信をもたねばならない。しかも、今後の日本を背負って立つのは諸君である。」と。

このように「労力奉仕団」は、お金のためではなく、一心に東新の子どもたちのため、力を合わせて労作を続け、しかも短期間で事をなし終えました。困難をものともしない地域の方々の心意気です。

「労力奉仕団」に加わった地域の人達のように、「世のため人のために、一筋に打ち込む力」「人と心を通わせて、協力する力」、それを発揮した姿が「力の東新」であり、生徒会スローガンの「君に幸あれ！」の姿なのではないでしょうか。

私たちの諸先輩の熱い思いを誇りとし、そのバトンをしっかりとつないでいきましょう。令和2年度の後期、皆さん一人一人のチャレンジと成長を楽しみにしています。

以上で、後期始業式のお話を終わります。



3密回避のため、オンラインで行いました

学校評議員会が行われました

10月29日（木）に、6名の学校評議員の方々にお越しいただき、第一回学校評議員会を行いました。津野校長から学校の運営方針や実態について説明した後、意見交換という流れで進みました。学校評議員の皆様からは、新型コロナ対策をしながらの教育活動に対して、教職員への労いのお言葉や今後の教育活動に対する期待等を伺うことができました。限られた時間ではありましたが、充実した会となりました。

具体的には、「いじめ」や「学力格差」の問題に対する学校の対応や GIGA スクール構想についての取り組みについて共有することができました。また、ホームページを介したオンタイムでの情報発信について、肯定的な意見が複数寄せられました。生徒の頑張りについても称賛いただき、地域の方にも見守っていただいていることがわかり、心強く思いました。中には、近所で見られる光景として、「朝、中学3年生の男子生徒が小学校1年生の弟と一緒に登校する際、横断歩道では手を引いて渡り、分かれるときにはしばらく後ろ姿を見守ったりしている」という心温まるエピソードが紹介され、和やかな空気に包まれました。

これからも地域と学校とが協働して、子どもたちの健やかな成長につなげていきたいと思えます。



←
学校評議員会
の様子
スライドを用
いながらの学
校説明

創立70周年記念事業 「温故知新」 ～更なる発展と飛躍に向けて～

=== 創立70周年記念式典が行われました ===

10月24日(土)に、創立70周年記念式典がYouTubeによるオンライン配信で無事に行われました。生徒は自宅で、教職員は視聴覚室で視聴しました。来賓の方々からは思いのこもった挨拶や祝辞をいただき、記念ムービーでは3組の対談がありました。それぞれのお立場から興味深いお話をうかがうことができました。また、それを受けて生徒会の生徒が感想やコメントを述べました。話の内容をしっかり受け止め、自分の考えを自分のことばで述べ合う姿はとても頼もしいと感じました。また、夕方には記念イルミネーションの点灯があり、点灯式を行いました。記念すべき70年目の節目にふさわしいデザインで、校舎も心も明るくなりました。



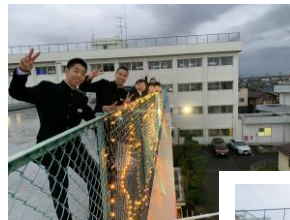
職員は視聴覚室で見ました



この日は、吹奏楽部の「オータムコンサート」もありました



点灯式 生徒会の生徒が進行してくれました



～ 「東新中ホームページ」にアクセスしてみてください ～

URL : <http://www.higashiniigata-jh.city-niigata.ed.jp>

☑️トップページ

学校からの「お知らせ」がオンタイムでわかります



☑️校長室ブログ

日々の教育活動や生徒の様子が綴られています



左記の他にも「東新中の教育」には、各種便りが掲載されています。「年間・月予定」では、行事やテストなどの予定が示されています。ぜひご覧ください。

ウェルカム参観がありました

10月10日（土）の午後に、地域と学校パートナーシップ事業の一環として「地域と学校ウェルカム参観日」が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初の内容を一部変更し、体育館で「東新潟中学校の70年のあゆみ」と「生徒の学習成果の発表」を中心とした展示を行いました。各学年の美術作品・生徒会&校歴コーナー・特別支援学級の切り絵作品・3年生の修学旅行レポート・スライドショー・地域コーディネーター通信等、見どころ&見応えのある展示になりました。

生徒は、午前の地域貢献活動から戻った後の休み時間や昼休みを使って見ました。互いの美術作品にコメントし合ったり、上級生の作品や修学旅行レポートを見て「すごいね」と感想を言ったりしていました。また、特別支援学級の生徒が作った切り絵の完成度の高さに驚いている様子が見受けられました。校歴コーナーやスライドショーでも足を止めて見入っている生徒がたくさんいました。自分や仲間のがんばりを認め合ったり、他の学年や学級の生徒のがんばりに刺激されたり、学校の70年の歩みに思いを致したり、と短い時間ではありましたが、貴重な機会になったようです。

午後からは、来賓を含め85名もの方々が参観に来られました。感想を一部紹介します。

- 卒業生ですが、その後の東新潟中学校の歩みを知ることができてよかったです。
- 今回は授業が見られなくて残念だったけど、色々な写真が見られたのでよかったです。
- このような活動が行われていることを、この度知ることができました。今後も参加していきたいです。
- 初めて参加しました。昨年との比較はできませんが、このような状況の中開催していただき、先生方には本当にありがたく思います。地域の協力は大切だと感じました。授業の様子が見られず残念でしたが、今後ともよろしくお願いたします。
- コロナで子どもたちの授業参観ではなく残念でしたが、頑張っている様子が作品より伝わりました。
- 学校の歴史や教育を知ることができてよかったです。

~~~~ 多くの方々のご参観、ありがとうございました。 ~~~

